

学際科学特別講義について

自然科学教育部では各専攻で開講されている講義に加え、自然科学教育部共通講義として「学際科学特別講義」を開講しています。各専攻の時間割表には掲載されてませんが、自然科学教育部の学生は全ての学際科学特別講義を受講可能です。いずれも時流をとらえた魅力的な講義ですので、まずはシラバスを見てみてください。なお、R7年度に履修登録及び単位認定されるのは1年生のみですが、全ての学生が聴講可能です。

若林秀樹 卓越教授

- 半導体産業や半導体企業の専門家、30年研究
- ニュースピックス プロピッカー 5.7万フォロワー<https://newspicks.com/user/848263/>
- (1986年東大工学系研究科修了、野村総合研究所主任研究員、JPモルガン証券、みずほ証券、マネージングディレクター歴任、ヘッジファンド起業)
- 電機のトップアナリスト～2005年・日経ランキング1位5回、ヘッジファンド起業



• 学際科学特別講義Ⅰ：企業産業分析予測

日経アナリストランキング1位5回の実績、リーマンショック前後でも二桁のリターンを叩きだした分析力、産業再生機構やNEDOなどプロジェクトでの審査経験での目利き力を全て吐き出します。企業分析だけでなく、産業や業界構造変化を捉え、将来を予測し構想する力を身につけましょう。

• 学際科学特別講義Ⅱ：組織人事戦略

技術者も、出世するにつれ、部下を管理育成することが必要です。また、イノベーションを起こすには、組織を動かす必要があります。これは大学や役所でも同様です。人事は組織と関連しますが、少子高齢化の中で、昨今、ジョブ型、メンバーシップ型の議論、働き方改革など話題豊富ですが、その理論と実践は意外と暗黒大陸で知られていないのです。これらについて、外資企業での経験も踏まえ、概要を知って頂き、西洋や東洋の差異、理系視点からも論じます。